

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

一般社団法人 アクティブ ケア アンド サポート

②施設・事業所情報

名称：ココファン・ナーサリー片倉	種別：認可保育所	
代表者氏名：園長 加藤由紀子	定員（利用人数）： 60名（59名）	
所在地：横浜市神奈川区片倉1丁目23番26号		
TEL：045-488-5118	ホームページ： https://nursery.cocofump.co.jp/nursery_school/katakura/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 2015年 4月 1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社学研ココファン・ナーサリー		
職員数	常勤職員：7名	非常勤職員 9名
専門職員	（看護師）1名	
	（保育士）14名	
	（栄養士）1名	
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室6 事務室1 厨房1 更衣・休憩室1	空調設備、厨房設備、沐浴設備

③理念・基本方針

<p>保育理念</p> <p>全ての人々が心豊かに生きることを願い今日の感動・満足・安心と明日への夢・希望を提供します。</p> <p>保育方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの養育と教育を両輪とした、子ども主体の心と体の育ちの支援 ・子ども一人ひとりの認知・発達に応じた、個別の発達支援 ・地域社会のすべての子育て家庭に対する、様々な取り組みによる育児支援 <p>保育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣が確立した子 ・心も体も自立した子 ・自律した行動がとれる子 ・他人に対する思いやりと寛容な気持ちを抱き、援助ができる子 <p>ココファン・ナーサリーの取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが本来持っている「育ちのチカラ」を伸ばします ・子どもの主体的な活動を援助し、子どもの発達を促します ・養護と教育の一体化を実践し、家庭と連携します。

④施設・事業所の特徴的な取組

保育園は横浜市営地下鉄ブルーライン片倉町駅から徒歩約5分利便性が高く、静かな住宅街に立地しています。周辺には緑も多く、自然に恵まれています。運営会社は株式会社学研ココファン・ナーサリーで、2008年から地域の子育て支援を推進する事業を行っています。2015年4月に開園し、定員60名、現在0～5歳までの園児59名が利用しています。同一建物にサービス付き高齢者住宅が隣接し、保育園と内部で往来ができ、日常的に高齢者との交流を楽しんでいます。

保育園の取り組みは、「子どもが本来持っている育ちのチカラを伸ばします。子どもの主体的な活動を援助し、子どもの発達を伸ばします」としています。子どもの自立を援助し、集団活動の中から育ちの力や思いやりの心を育てています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2019年7月31日（契約日）～2020年3月16日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（ 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1. 異年齢交流・多世代交流を掲げ、職員以外の地域の様々な人と交流し、子どもの生活の幅を広げています。

保育の特徴として、異年齢交流・多世代交流に取り組み、職員以外の人との交流を促進しています。隣接の高齢者福祉住宅と共同で季節行事を楽しむほか、10月のハロウィンでは地元商店街でお菓子をもらうイベントを行っています。地域の農家の協力を得て、野菜の栽培や収穫を体験し、収穫した野菜で子どもと一緒におやつ作りを行うなど、食育の取り組みにも繋がっています。地域交流を通じた様々な社会体験は子どもの心身の成長と社会性の獲得に資する機会となっています。

2. 様々な研修を通じ、職員の資質向上に努めています。

保育園及び運営会社（以下、本部）で人材育成に取り組み、研修を通して職員の保育に必要な知識や技術の向上に努めています。本部は、傘下の保育園（以下、系列園）共通の新人研修や初任者研修、職務や経験に応じてコーチ研修やリーダー研修など「人としての成長」を目指す階層別研修を多数設定しているほか、専門職を対象とするテーマ別研修など「専門性を高める」ための研修も多く実施しています。また、インターネットを活用したeラーニングも導入しています。園内では、職員間のOJTを充実させるとともに、毎月様々なテーマで内部研修を実施し、職員の能力向上に努めています。

◇改善を求められる点

1. 子どもへの対応を点検し、意識の向上と併せ、対応方法の統一化が期待されます。

訪問調査の日、保育観察から、子どもたちが様々なおもちゃで遊ぶ姿や楽しく過ごすクラス活動など、子ども一人一人が職員からたっぷり愛情を受け、育てられていることが伺われました。一方、保育士が大きな声をあげる場面が見られました。また、今回の利用者調査の結果、職員の挨拶やマナー、連絡の不備等を挙げる意見が見られました。今後、職員の対応を検証したり、職員同士で対応を点検したりして意識の向上と併せ、接遇や対応方法を話し合い統一化を図る取り組みが期待されます。

2. 中期計画と連動し、年度の事業内容を明確にした計画の策定が期待されます。

年度事業計画を策定し、運営方針、職員体制や年間計画など年度中に実行する基本的な事業内容を明確にしています。ところが、中期計画と連動していないほか、当該年度に取り組む改善課題や特に力を入れたい取り組み、成果及び数値目標等が具体的に示されていません。中期計画には保育や運営のほか人材育成や収支計画など、項目別に段階

的な改善計画を示していることから、今後、年度の事業内容を明確化を図り、周知するとともに、保育園全体で達成を目指し取り組むことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度は、第三者評価を受審致しまして、保育所の運営に関わる様々な点や組織における振り返りを行うことが出来ました。

評価結果の改善点は今後のより良く保育する上での具体的な示唆となり、園全体でより質の高い保育を実現するためには何をすべきか、管理者自ら問題点を分析していく所存です。

また、多数寄せられた保護者の皆様からの声も真摯に受け止め改善に向けて努力していきたいと思っております。

子ども達に対する対応の統一化を行い、日々における保育の質の向上のために職員ひとりひとりの意識向上に努めて参りたいです。

最後に第三者評価の受審に際し、ご多忙の中アンケートにお答えいただき、ご協力いただいた保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり